

福祉を重点に2008年度予算要求交渉

日本共産党は来年度予算編成に対して17項目に渡って要望を提出していましたが、10月10日に要望書に基づき市長交渉を行いました。小泉構造改革以来社会保障制度が大きく後退したため、医療福祉の分野に重点を置いた内容となりました。

大垣市議会議員

笹田トヨ子

日本共産党と笹田トヨ子が提出した 2008年度予算要望書

1. 少人数学級の更なる推進を。また、1学年1クラスの小規模学校であっても「35人学級」を実施してください。
2. 児童館が設置されるまで、地区センターに児童厚生員の配置と児童専用室の確保をしてください。
3. 就学援助制度の周知と「民生委員の所見」欄などを削除するなど申請用紙の改善を。
4. 自立支援法に関して
 - ①ひまわり学園等の障害乳幼児の療育について、無料で行うこと。
 - ②障害者の利用料負担に対して市独自の軽減措置を。
5. 低所得者に対して、介護保険料および利用料の市独自軽減措置を。
6. 福祉輸送について、西濃圏域福祉有償運送運営協議会に対してセダンで移送が可能になるよう働きかけてください。
7. 大垣市老人医療費助成制度を窓口負担1割を堅持し、74歳まで拡充して下さい。
8. 大垣市独自の国民健康保険料の減免制度を作ってください。
9. 大垣市民病院の看護配置を7:1にするため、看護

師の大幅増員を。

10. 市民病院を退院した患者さんが引き続き機能回復ができるよう在宅リハビリの充実をもとめます。
11. 若年性認知症や比較的若い脳血管障害の方の行き場がありません。この方々を対象としてデイサービス等を検討してください。
12. 特定健康診査及び特定保健指導について、
 - ①健診については、義務規定だけでなく健康増進法による取り組みも行い、今までの健診内容を下回らないように。
 - ②特定健康診査および特定保健指導が実効あるものにするためマンパワーの確保など精力的にお願いします。
13. 荒崎地域の水害対策について、遊水地としての役割がある限り、洗堰から越流した水が住宅地に浸水しないための対策を県・国に要望してください。
14. 議員、および市幹部などの公費による年功序列的、論功行賞的な海外視察は廃止を。
15. 上石津地区は、大垣地区よりも上・下水道料金で3倍も高い料金となっています。早急に格差の是正を。
16. 上石津町の各戸別受信方式の防災行政無線継続を求めます。
- 17 「かみいしづ温泉」の施設整備と温水プール等の健康増進施設の併設を求めます

小川市長及び市当局の答弁要旨

「垣老」継続の見解を表明

9月議会では「すべての事業を見直し財源を検討する」ということで継続審査となったため、試算など具体的に検討されたのか質問しました。これに対して、市長は国の動きからみて「70歳以上の医療費2割負担」は“凍結”ということで、「垣老」も“現状のまま”でいけそうという見解でした。

福祉有償運送にセダンの導入には否定的な見解

「福祉有償運送」は単独で公共交通機関（電車やバス、タクシーなど）を利用して移動することが困難な高齢者や障害者のために、通院や通所、レジャー等を目的として、NPO法人など非営利法人が行う有償の移送サービスのことです。福祉有償運送で認められている車両はリフト付の福祉車両のみとされていますが、岐阜県では「特区」を申請し、セダン車の使用を可能にしました。そこで大垣地域でもセダン型車両が使用できるよう求めました。

これに対する答弁は「車椅子の人は、セダン型車両のタクシーには乗れないので、『福祉有償運送』の福祉車両が認められている。セダン型車両に乗れる人はタクシーを利用して欲しい」の一点張りでした。

タクシーはお金がかかるのでそう度々利用はできません。「予防重視」が叫ばれている要支援や要介護1の人こそ、外へでて社会とのつながりをつけることが必要ですが、介護タクシーが利用できません。気軽に外に出るためには、そのための「足」の確保が必要です。岐阜県が「特区」でセダン車使用を認め、岐阜市は「福祉有償運送」にセダン型車両の導入を決めました。なぜ大垣市はセダン型車両を認めないのか理解できません。